

本ニュースリリースの解禁日は、2015年1月21日（水） 午前0時でお願いします。

2015年1月21日

報道関係各位

鹿児島県観光交流局かごしまPR課

AKB48 柏木由紀が真っ黒なお姫様役で登場！

「鹿児島は黒」キャンペーンスタート

2015年1月21日(水)よりWEBでスペシャルムービー『^{くろゆきひめ}黒由紀姫』公開！

鹿児島県は、このたび薩摩大使の柏木由紀さん(AKB48)を起用し、鹿児島の「黒素材」をPRするキャンペーン「鹿児島は黒」を開始いたします。キャンペーン第一弾として、ウェブページ(<http://www.kagoshima-kankou.com/kuroyukihime/>)を開設し、スペシャルムービー『^{くろゆきひめ}黒由紀姫 (プリンセストーク ぶとうかい篇)』を、2015年1月21日(水)から公開致します。

柏木さんは、鹿児島県出身で、2011年から本県のキャッチコピー「本物。鹿児島県」のイメージアップキャラクターを務め、2012年からは薩摩大使に就任し、鹿児島の魅力を発信してきました。今回新たに制作したWEBムービーでは、白雪姫ならぬ、鹿児島を心から愛する「黒由紀姫」に扮し、真っ黒のドレスに身を包んだ美しいお姫様役で登場しています。馬車がなくて舞踏会に行けず困っている友達のシンデレラからの相談に対し、「鹿児島黒牛に乗って行けばいい！」と大胆提案、鹿児島愛に溢れるマシンガントークを繰り広げるシーンが見所となっています。つつい後先考えず鹿児島をプッシュしてしまう黒由紀姫の、可愛いくもちょっとブラックなジョークが効いたムービーに仕上がっています。

今回の出演にあたり、柏木さんは、「白雪姫ではなく黒由紀姫になりました！鹿児島には黒のつく特産品がたくさんあります。黒由紀姫として、県内県外の方に改めて鹿児島の特産品をPRしていきたいです。」と意気込みを語っています。

鹿児島県は、おなじみの黒豚はもちろん、良質のブランド牛である黒牛に黒さつま鶏、黒酢、黒砂糖、クロマグロなど「黒」を冠にした素材が多く、また、伝統工芸品でも薩摩焼の黒薩摩や、薩摩黒切子などまさに「黒王国」と呼ぶにふさわしい黒い名産品が数多くあります。キャンペーンを通じ今後全国に鹿児島県の黒の魅力を情報発信してまいります。



■「鹿児島は黒」キャンペーンについて

鹿児島県は、2011年より「本物。鹿児島県」をテーマにPRキャンペーンを行っており、手つかずの大自然や良質な温泉、安全・安心な食材、人情味あふれる県民性など、鹿児島県には人々を元気にする本物の素材にあふれていることをPRしてまいりましたが、食材や伝統工芸品に黒い名産品が数多くあることに着目し、2015年は「鹿児島は黒」キャンペーンを開催することとなりました。

キャンペーン第一弾として、ウェブページを開設し、スペシャルムービー『黒由紀姫（プリンセストーク ぶとうかい篇）』を1月21日（水）から公開致します。今後も続編を順次公開予定です。

また、柏木さんが登場する「かごしまの“黒”ハンドブック」を作成し、順次配布いたします。黒食材や、伝統工芸品についてその魅力を分かりやすく解説する他、「黒を巡る」旅のプランなども提案しています。全国での百貨店・量販店での物産展や主要観光施設、県外事務所等に設置される予定です。



■スペシャルムービー『黒由紀姫』ストーリー

「プリンセストーク ぶとうかい」篇

(<http://www.kagoshima-kankou.com/kuroyukihime/>)鹿児島県のパンフレットを眺めながら、ソファでくつろぐ黒由紀姫の元に一本の電話がかかってきます。友人・シンデレラからでした。話を聞けば、シンデレラは王子様から舞踏会の招待状を受け取ったにも関わらず、仕事で忙しくてお城に行く馬車もないため、あきらめようとしているとのこと。そこで、心優しい黒由紀姫は彼女が舞踏会に行けるようアドバイスをします。最初は、「魔法使いのおばあさんに頼んで馬車を頼めば良い」と提案しましたが、普通の馬車では目立たないかとも思い直し、最終的には「鹿児島黒牛に乗って行けばいいんじゃない？」と大胆な提案をします。そこからマシガントークで鹿児島黒牛の魅力を熱く語りだす黒由紀姫。鹿児島が黒毛和牛の生産量日本一であること、きめ細かく、柔らかな肉質、バランスの良い刺しが絶品であることなどを語り、「王子様も絶対美味しいって言うてくれるはず」と説得し、最後には「王子様のハートを射止めるわ」と可愛らしくプッシュします。アドバイスを受け、シンデレラは無事舞踏会へ。電話を切ってから、「このままだと鹿児島黒牛が舞踏会の主役になってしまうかしら」と、鹿児島への情熱ゆえつい後先考えず提案してしまったことに気がつくますが、「まいった、鹿児島黒牛、すっごく美味しい」と笑顔で納得します。めでたしめでたし。

■『黒由紀姫』とは

鹿児島県のあるところに、黒い県産品を愛して止まない、それはそれは美しい姫が住んでいました。
ある日も、黒い県産品を探しに出ると、いつの間にか森の中に迷い込んでしまいました。
すると、どこからか楽しそうな声が聞こえてきます。
そっと近づいて陰から覗いてみると、そこには黒い県産品を持って楽しそうにはしゃぐ、ぐりぶ一の7匹の子供たちが※いました。
姫は嬉しさのあまり「わたしも鹿児島の黒が好きなの！」と声をかけました。
突然現れた姫の美しさに、子供たちは見惚れて「黒由紀姫」だ！ と喜びました。
それからのこと、鹿児島の黒を愛する姫と子供たちは、一緒に暮らし始めました、とさ

■撮影エピソード

柏木由紀さんコメント

今回は黒由紀姫のドレスもオリジナルで作って頂き、髪型など細かいところにもこだわって撮影しました。
現場の雰囲気も良く、鹿児島の美味しいお菓子などを食べながら楽しく撮影出来ました！

■プロフィール

柏木由紀 YUKI KASHIWAGI

ニックネーム： ゆきりん
生年月日： 1991年7月15日
出身地： 鹿児島県
血液型： B型
趣味： カラオケに行くこと・音楽を聞くこと

公式ブログ：<http://ameblo.jp/yuki-kashiwagi-we/>

公式ホームページ：<http://yukiring.jp>



■鹿児島県公式 PR キャラクター ぐりぶー について

ぐりぶー

鹿児島県公式 PR キャラクター

ぐりぶーは鹿児島が全国に誇るブランド

「かごしま黒豚」と、鹿児島の豊かな自然をイメージしています。

黒豚の特徴である六白に、自然を表す緑と木、花、

そして顔は凜々しい西郷どんです。

緑化の緑(グリーン)とぶた(ぶー)をたして、ぐりぶーです。

花と緑と鹿児島が大好きです。



さくら

ぐりぶーのお嫁さん。顔の周りにはたくさんの花があり、

耳にはハイビスカスの

飾りがついています。しっぽの先にも花が咲いています。

名前は春を代表する花「桜」が南から北上する桜前線のように、

色彩豊かな花や緑が鹿児島から全国

に広がってほしいという願いからつけられました。



ぐりぶーの子供たち

2014年10月10日。ぐりぶーと

妻さくらの間に元気な子供ができました。

眼鏡をかけた真面目な子は青の「まなぶー」、

やんちゃな子は赤の「あそぶー」、

甘えんぼはピンクの「らぶぶー」、

食いしん坊は黒の「かごぶー」、

のんびり屋は黄色の「すなぶー」、

姉御肌のおませさんは茶色の「ゆゆぶー」、

泣き虫な末っ子は白の「ほしぶー」。

●かごぶー



●あそぶー



●らぶぶー



●まなぶー



●すなぶー



●ゆゆぶー



●ほしぶー



■鹿児島の黒い名産品

【黒豚】 400年前に琉球から入ってきたと言われ、前足2本、後ろ足2本、鼻、しっぽの6箇所が白い「六白」が特徴。さつまいもを飼料にすることで、脂肪の質が向上。脂肪融点が高く、さっぱりとしたヘルシーな味わい。肉の筋繊維が他の品種の豚よりも細かく、歯切れが良く、柔らかい。

【黒牛】 黒毛和牛生産日本一の鹿児島が誇る高品質のブランド牛。きめ細かな柔らかい肉質と、バランスの良いサシと呼ばれる霜降り肉が特徴で、国内外で人気を集めています。

【黒さつま鶏】 日本三大地鶏のひとつといわれる「薩摩鶏」を父に、横斑プリマスロックを母に持つ鹿児島の新しい地鶏。歯切れの良さと適度な歯応えがあり、甘みにも似たうま味がある。その魅力を堪能できる刺身は一食の価値あり。

【クロマグロ】 マグロの中の最高級品、クロマグロ。本マグロとも呼ばれ、鹿児島県は日本一の養殖生産地。年間を通して暖かい最適な水温で、大きな湾や入り江を活用ししのびのびと大きく育てているため、程よく脂ののった美味しいクロマグロとなります。

【黒砂糖・黒糖焼酎】 奄美大島や種子島などで生産されるサトウキビを原料に作られる黒砂糖は、ミネラルを含んだ力強い甘みが特徴です。華やかな香りと爽やかな味わいの黒糖焼酎は、奄美群島のみで製造されています。

【黒酢】 麴、蒸し米、地下水の3つの素材だけで作られる黒酢。江戸時代から続く壺づくりの製法が今も引き継がれ、熟練の職人によって大事に育てられています。

【黒薩摩(薩摩焼)】 400年前から人々に親しまれてきた黒薩摩。「黒もん」と呼ばれ、茶碗や皿、湯呑や黒ぢよかなど、庶民の日用品として古くから親しまれてきました。素朴で味わいのある風合いが魅力です。

【薩摩黒切子(薩摩切子)】 薩摩切子は、紅や藍、黄などカラフルなものが知られていますが、今注目を集めるのは2006年に登場した黒い切子。光を通さない黒はカットが難しく高い技術が必要。熟練の職人技で作上げられます。

【本件に関する問い合わせ先】

鹿児島県 観光交流局 かがしまPR課 豊川, 濱田

TEL : 099-286-3046 FAX : 099-286-5581

Email : kagopr-ki@pref.kagoshima.lg.jp